

平成27年度 タラ看護専門学校看護学科 自己評価結果

1 教育理念、目的、育成人材像等

<ul style="list-style-type: none">・理念、目的、人材育成像は定められているか・学校の特色は何か・学校の将来構想を抱いているか	<p>理念、目的、人材育成像は学生便覧に明記してある。理念、目的に関しては今後見直しが必要である。見直しにあたっては、理念・目標が社会のニーズに合っているか、学生に伝わりやすいものなのか等検討していく必要がある。</p> <p>地域医療に貢献する人材育成を目指している。卒業生の8割は県内就職をしている。</p> <p>創立して6年経過しているところである。将来構想は明文化されていないが、地域で担う役割について会議において検討している。</p>
---	---

2 学校運営

<ul style="list-style-type: none">・運営方針・事業計画は定められているか・運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか・意思決定システムは確立されているか・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	<p>運営方針については、事業計画の中に定められている。</p> <p>学則や学校管理運営規則に基づき意思決定を行っている。</p> <p>人事委員会規程及び給与規程に則り整備されている。</p> <p>職員会議など各種会議において意思を決定するシステムが確立されている。</p> <p>学生募集において、各種のデータを記録・保存・活用するシステムを開発している。</p>
--	--

3 教育活動

<ul style="list-style-type: none">・各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか・各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか・カリキュラムは体系的に編成されているか・学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか・授業評価の実施・評価体制はあるか・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか・資格取得の指導体制はあるか	<p>実践能力と豊かな人間性をもつ卒業生を育成するために、カリキュラムを編成し、教育課程編成委員会での協議をもとに見直しを行っている。専任教員は各種研修会や学会へ参加して視野を広げ、業界の人材ニーズに対応できるようにしている。専門基礎科目・専門科目の講師は、医師・歯科医師・保健師・助産師・看護師等の資格を有している。また学生は1年次5月に鹿児島県看護の日記念式典へ出席し、永年功労者表彰式、講話の聴講等を通して、看護職への意識を高めている。</p> <p>教育理念・目的・教育目標を定め、カリキュラム構造図と順次性を示している。それを根拠に3年間の学年別到達目標を示している。</p> <p>看護師養成所指定規則に沿って目標を達成できるように編成している。</p> <p>科目の構成、教育内容は構造図で明記してある。シラバスは作成している。1コマの授業についてのシラバス作成が今後の課題である。</p> <p>全科目実施しているが、教員及び講師へのフィードバックが不十分である。評価を分析し、教員及び講師にフィードバックし、授業展開にいかせるようにしていく。</p> <p>授業を行う教員の確保はできているが、専任教員になるための必要資格を有していない教員が4名いる。現在必要資格をとるため学習をしている。教員になってからの期間が長ければ、臨床における最新の知識・技術の専門性の習得がおろそかになりやすいため、臨床への研修も今後行う必要がある。教員の資質の向上をさせるため、1年に1回の研修への参加を実施している。</p> <p>成績評価及び単位認定は、「学則」及び「学則施行細則」に従い厳正に行っている。各科目の評価方法は「教育課程」の中に明記している。</p> <p>看護師国家試験に対する対策は各学年ごとに実施している。成績一覧にもとづき個別対応をおこなっている。</p>
---	--

4 教育成果

<ul style="list-style-type: none">・就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか・資格取得率の向上が図られているか・退学率の低減が図られているか・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	<p>就職希望調査を実施し、個別指導を行っている。看護師免許取得者の就職率は100%である。</p> <p>卒業生全体の看護師看護師国家試験合格率は95%である。平成27年度については、全国平均を下回っており、不合格者に対するの支援を行っている。</p> <p>各学年で面談を実施し、学生の状況を早期に把握している。学業の継続及び精神的支援をおこなっている。</p> <p>一期生が卒後4年目である。今後認定看護師等の資格を取得し活躍していくことを期待している。</p>
--	---

5 学生支援

<ul style="list-style-type: none">・就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか・学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか・学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか・学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか・課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか・保護者と適切に連携しているか・卒業生への支援体制はあるか	<p>2年次3月と3年次4月に就職ガイダンスを実施している。また一人ひとりの就職活動の支援や相談を行う体制をとっている。</p> <p>複数職員による担当制にしていることから学生の相談窓口が広い。カウンセラーは常駐していないが、学生が希望する場合は、学校内で相談可能である。</p> <p>奨学金制度については入学時に説明をしている。学生からの相談により、学費の分納制度の案内及び説明を実施している。奨学金利用や分納についてのデータは保管している。</p> <p>健康管理規程に基づき毎年実施している。健康診断の結果は保管している。健康管理表を活用し、自己管理の重要性を認識できるようにしている。</p> <p>学生の課外活動は、現在希望者のみ茶道を行っている。</p> <p>学生寮はない。遠隔地からの入学生など、希望者へは提携業者への斡旋を行い、手数料割引となる制度がある。入学後は、学年担当が中心になり、一人暮らしに関する相談、援助を日常的に行っている。</p> <p>保護者会は開催していないが、新入生保護者に対し、入学時の保護者オリエンテーションを実施している。また、入学後は個人票を記載してもらい、緊急連絡先を把握し必要時にすぐ連絡ができるようにしている。学校内での様子が気になる学生や成績の思わしくない学生など、必要に応じて学年担当が保護者に連絡をとり、家庭と連携、協力して学生に対応している。</p> <p>赤塚学園全体として「あすなる会」が設置されている。タラ看護専門学校では同窓会が組織されている。親族者への学費免除など行っている。卒業生へ図書室を開放している。国家試験不合格者に対するのフォローは実施している。</p>
---	--

6 教育環境

<ul style="list-style-type: none">・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか・学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか・防災に対する体制は整備されているか	<p>指導ガイドラインに規定されている施設設備は、すべて有しており、利用方法などは、施設管理規程や図書管理規程に明示されている。授業開始前や放課後、長期休暇期間中にも開放しており、有効的に利用されている。施設の破損などが生じた時には、速やかに対処している。図書の分類・整理は司書にて行われている。DVDや新刊については、毎年予算をたて購入できるようにしている。</p> <p>臨地実習は、指定規則に定められた時間数で実施している。実習施設は指定の要件を満たしており、実習内容が目標を到達できることを考慮し決定している。実習中は、ほとんど全ての領域で教員が同行し、学生指導にあたっている。インターンシップについては、病院奨学金貸与を受けている学生の一部が長期休暇中に参加している。海外研修は実施していない。</p> <p>防災対策は、消防計画等に基づいて、防災体制の整備、防災訓練の実施等、基本的な体制を整備している。防火管理者、施設管理責任者等の予防担当者を適切に配置し、必要に応じてその任命を再確認している。</p>
--	---

7 学生の募集と受け入れ

<ul style="list-style-type: none">・学生募集活動は、適正に行われているか・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか・入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか・学納金は妥当なものとなっているか	<p>高校等には、主に代理店の主催による高校ガイダンスに参加している。オープンキャンパスを開催している。広報を中心に、教員でも対応している。</p> <p>入学案内、ホームページ及び高校訪問やオープンキャンパスを通して、適正な情報を適切に伝えられるよう努めている。</p> <p>入学選考は「学則」及び「学則施行細則」に基づき適切かつ適正に実施している。また、入学者に関するデータは、十分に整備・管理している。出願者数、受験者数、試験結果、合格者数、入学者数等の入学選考に関する情報は全てデータとして管理し、次年度の入試に活かしている。</p> <p>学納金は、県内の他の看護専門学校とほぼ同程度であり妥当である。</p>
--	---

8 財務

<ul style="list-style-type: none">・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか・財務について会計監査が適正におこなわれているか・財務情報公開の体制整備はできているか	<p>看護学科は定員を確保しており、経営的には安定しているが、中途退学者や休学者が比較的多く収入減となること、また、実習に係る経費や設備の更新にも多額の費用を要することから、中長期的整備・更新計画が必要である。</p> <p>年度ごとに、事業計画書とともに収支予算書を作成し適切な執行に努めているが、中途退学者や休学者による一定の収入減を見込んでおく必要がある。</p> <p>公認会計士による法定監査及び定期監査を受けている。</p> <p>学校法人としての社会的責務を果たすため、適正な運営に努めるとともに必要な情報公開に努める。</p>
--	---

9 法令等の遵守

<ul style="list-style-type: none">・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか・自己点検・自己評価結果を公開しているか	<p>看護師養成所指定基準を遵守し、適正な運営をしている。平成27年度は、新たな実習施設(済生会川内病院、居宅介護支援事業所)の申請を、法令等に従い遅滞なく関係機関(県)に行った。</p> <p>個人情報に関しては、重要性を十分に認識し、学校全体の取り組みとして情報保護を行っている。特に臨地実習においては、「看護師の倫理綱領」に基づき、「臨地実習における個人情報及び実習記録の取り扱い」を定め、実習前オリエンテーションで説明している。</p> <p>点検・評価の一環として、授業科目毎の「授業アンケート」を実施し、学生の声を講義に活かせるよう努めている。学校関係者評価については、文部科学省ガイドラインに従って平成28年度より実施する。</p> <p>学校概要、教育内容については、学校案内(パンフレット)の他、ホームページに掲載している。しかし、教職員等の教育情報の公表は十分ではない。平成28年度より、自己評価結果をホームページにて公開予定である。</p>
---	---

10 社会貢献

<p>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</p> <p>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>	<p>他専修学校、関連団体とは協会活動等で連携・交流は行っているが、企業や地域との交流はあまりできていない。施設の開放としては、近隣の住民、企業に駐車場の貸し出しは行っているが、学校の資源を生かした住民向けの講座等を行っていない。</p> <p>ボランティア活動の奨励・支援に関しては、学校宛てに依頼があったボランティアについて学生への掲示・告知により周知を図っているが、なかなか参加できていないのが現状である。今後、長期休暇中のボランティア活動を奨励支援していく。</p>
---	---